

骨髄バンク推進全国大会
「1万人のありがとう」
～患者からドナーへ、ドナーから患者へ～

財団法人骨髄移植推進財団
理事長 正岡徹

骨髄移植推進財団（日本骨髄バンク）は、9月21日（日）、「骨髄バンク推進全国大会」を中電ホール（愛知県名古屋市）で開催します。10月の骨髄バンク推進月間に先立ち、骨髄バンクについて一般市民のご理解をいただく機会としたいと思います。入場は無料です。

骨髄移植推進財団（東京都千代田区、理事長：正岡徹）は、白血病などの血液難病の患者さんを救命するため、平成3（1991）年12月に発足しました。広く国民の皆さまから骨髄提供希望者（ドナー）を募り、患者さんへ骨髄を提供する橋渡しを行っています。

今年は骨髄移植推進財団が設立され17年目となりますが、1月には当初目標としていたドナー登録者が30万人に達し、骨髄移植は9000件を実施し、年内には骨髄移植累計数が1万件に到達する見込みです。

30万人のドナーがいれば、骨髄移植を必要とする9割以上の患者さんに一人以上の提供候補が見つりますが（昨年度実績93.5%）、提供候補者の健康状況や、やむを得ない都合で提供できない場合も多く、昨年度、移植を希望した患者さんのうち移植に至った方は6割に留まりました。患者さんには、適合するドナーが複数であることが重要です。そのためには、さらに多くの方々に骨髄バンクについてご理解いただき、ドナー登録をお願いしなければなりません。

骨髄バンク推進全国大会では、「骨髄バンク」という言葉だけでなく、なぜ、どうして骨髄バンクができたのか、実際に移植を受けた患者さん、提供されたドナーさんがどのような思いで移植や提供をされたのかを、20年前に日本に骨髄バンクを作るため、白血病の闘病中に立ち上がった大谷貴子さんとともに、その意味と意義を探っていきます。また、学生により作曲されたテーマ曲やゴスペルアンサンブルも演奏されます。

入場は無料、どなたでも参加できますので、皆さまにお越しいただきたく、お知らせいたします。

骨髄バンク推進全国大会
1万人のありがとう
～患者からドナーへ、ドナーから患者へ～

開催日時 平成20年9月21日（日曜日） 13:00～16:30
開催場所 中電ホール（愛知県名古屋市東区東新町1番地）
主催 財団法人骨髄移植推進財団 骨髄バンク推進全国大会実行委員会
後援 厚生労働省、日本赤十字社、日本さい帯血バンクネットワーク、日本造血細胞移植学会、愛知県、名古屋市、NPO法人あいち骨髄バンクを支援する会、NPO法人関西骨髄バンク推進協会、岐阜骨髄献血希望者を募る会、NPO法人血液情報広場・つばさ、NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会、名古屋コミュニケーションアート専門学校、静岡骨髄バンクを推進する会、勇気の会（三重骨髄バンク推進連絡会議）、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン、ライオンズクラブ国際協会334-A地区

大会プログラム

<第1部> 式典 13:00~

主催者挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈、祝電披露、事業報告
感謝状は、関西電力労働組合や、愛知県、岐阜県、三重県での骨髄バンク啓発活動に多大なるご協力をいただいた団体に贈られます。

<第2部> 大会イベント 14:15~

オープニング

NCAゴスペルアンサンブル

トークショー

進行役 大谷貴子 水谷久美

様々な立場の方が語る「私にとって骨髄バンクとは」

- ・骨髄バンク誕生秘話
- ・名前は知っているけれど・・・、もっと教えて骨髄バンク
- ・私のドナー体験談他

抽選会

<同時開催：実行委員会参加団体紹介コーナー及び骨髄バンクパネル展示>

中電ホール会場2階、3階ロビーにて、実行委員会参加団体紹介コーナーおよび骨髄バンク普及啓発用パネルや実行委員会参加団体の活動紹介などを展示いたします。

参考 骨髄バンクの現状

2008年8月末現在

骨髄提供希望者（ドナー）登録者現在数 317,030人 （累計 401,743人）

患者登録現在数 2,666人 （累計 25,766人）

骨髄移植実施数 9,674例